

平成27年10月2日開催経工会幹事会議事録

1. 日時 平成27年10月2日（金） 18:30から
1. 場所 こぶし会会議室
1. 出席幹事 高木、宮元、今越、本城、池野
1. 議題
 - ① 第16回総会および穴水サンセットセッションの実施報告について
 - ② 第11回経工会ゴルフコンペの実施報告について
 - ③ 第一回若手幹事会の実施報告について
 - ④ こぶし祭チケット販売分担について
 - ⑤ 経工会だよりページネーション精査
 - ⑥ こぶし会全国一斉ボウリング大会について
 - ⑦ 常任若手幹事合同研修会実施について
 - ⑧ 冬の異業種交流会の講師選出について
 - ⑨ その他

1. 議事の経過及び結果

定刻に至り、高木会長が開会を宣し、議事録の作成者に池野副会長を指名し議事に入った。

①第16回総会および穴水サンセットセッションの実施報告について

高木会長より、「9月19日（土）13:30より穴水湾自然学苑にて第16回経工会総会を実施し、すべての議案が承認されたことを報告する。総会後の記念講演では、土屋先生に『どっぷりとトヨタに浸かって37年』と題して楽しい話をしていただいた。」と報告があった。

引き続き今越会計より、「総会後 15:00 からサンセットセッションを実施した。15:00 からアルタイル号での海洋活動、夜はハーバーでバーベキューを行った。バーベキューでは、ジャズメンバーによる演奏も行われ大盛会のうちに終了した。宿泊参加者は、大人33名、小学・幼児8名、素泊まり1名、合計42名であった。日帰りが大人13名、子供1名、参加総人数は55名であった。昨年の反省を踏まえ、今回から受付時には学苑施設利用時の注意書きを渡し規律遵守の徹底と、受付を済ませた人には記名した宛名シールを胸に貼ってもらい、参加者認識の明確化を図った。今回も村井豊幹事が機転を利かせて食材を安く仕入れてくれたおかげで、食材費はかなり安く済ます事ができた。食材の量は人数に対してちょうど量であったため、無駄なく消化することができた。酒類は、ビールが急きょ不足したため当日追加したが、さらに余りがでた。余剰分は年末の幹事研修会で消費したい。この反省を踏まえ、来年はビール本数は一人あたり2本を目安にしたい。収支は、3,000円不足となったが、会費の目安としては一人3,000円が妥当ということが判った。この点は来年への反省点としたい。

最後の退出の時には、全員退出するまで立ち会いし、全階全室の毛布のたたみ方までチェックするなどして、学苑に迷惑がかからないよう配慮した。昨年の一部の参加者にルール違反が見られたが、今年は全員が規律正しく行動できていた。来年もこのようにできるようにしたい。」との報告があった。

②第11回経工会ゴルフコンペの実施報告について

高木会長から、「9月6日（日）千里浜カントリークラブにて、第11回経工会ゴルフコンペを実施した。さわやかな秋晴れのもと、参加者は5組19名、活況のうちに終了した。成績は、優勝 百万光生氏、二位 村田新也氏、三位 松下泰文氏であった。今年は学科教員から参加がなかったのは残念であったが、来年はさらに多くの参加者を期待したい。」との

報告があった。

③ 第一回若手幹事会の実施報告について

池野より、「9月26日(土)13:00からこぶし会会議室にて若手幹事会を実施した。出席者は、加藤哲(H16)、古田宗一郎(H21)、坂下恭平(H21)、舟橋直正(H22)、本城秀俊(H22)、喜多亮介(H23)、村井、池野の8名であった。議題として、こぶし会組織構成、経工会の活動説明、異業種交流会実施報告、総会およびサンセットセッションの実施報告、こぶし祭への支援依頼、若手幹事の活性化について意見交換である。出席者から以下の意見があがった。

- ・こぶし会、学科同窓会の存在は知っていたが、事業に関する情報があまり入ってこず、これまで関わったことがなかった。今後は、会員の懇親を目的とした交流会や興味があるテーマの異業種交流会があれば参加したい。
- ・ホームページは事業活動を知るきっかけになるが、若い世代にはより馴染みがあるFacebookなどのSNSのほうが参照する確率が高いのではないか。
- ・異業種交流会の参加者の世代に開きがあると、若手会員が参加しにくいのではないか。若手会員を中心とした異業種交流会も実施してはどうか。
- ・大学関係者が幹事として活動するのは、効率がよい反面、大学行事のほうに手が取られたり負担がより多くなる。これを糸口に、幅広く定着してもらえる若手幹事の発掘をしたい。

なお、異業種交流会の講師候補としては、加藤哲氏(H16、もとドラッグストア勤務)、坂下恭平氏(H21、半導体加工メーカー)を挙げたい。今回は、新しいメンバーも加わり、有意義な意見交換ができた。ホームページには集合写真と実施の様子を掲載してある。」との報告があり、今後幅広く若手幹事を引き続き発掘することと若手幹事の定着が課題としてあがり、承認された。

④ こぶし祭チケット販売分担について

高木会長から、「こぶし会理事会でチケット販売が決定し、例年通り販売を委任されている。学科分担150枚のうち、100枚は百万幹事の手元にすでに渡っている。残り50枚の分担をお願いしたい。」との提案があり、宮元幹事が35枚、高木会長が15枚を担当することになった。

⑤ 経工会だよりページネーション精査

高木会長から「経工会だよりの進捗を確認したい。」と説明があり、池野より「会長挨拶、学科主任・武市先生挨拶文の字数は800字と伝え、武市先生から11月末までに原稿を入手予定である。穴水での総会、サンセットセッションの集合写真は、ライターハウスから入手したものを使ってもらう予定である。その他の事業の写真もホームページから入手可能である。教員の顔写真は進展がない。ページネーションは、村井副会長に進めてもらっているが、今回はまだDRAFTがきていない。」との報告があった。

⑥ こぶし会全国一斉ボウリング大会について

高木会長から「こぶし会全国一斉ボウリング大会は、11月14日(土)御経塚グランドボウル(イオン御経塚店2階)にて午後7時全国一斉スタート予定である。例年通り、こぶ

し会から案内がきている。申込締切は、11月6日(金)必着とのこと。会員への告知とホームページへも掲載してもらいたい。例年の参加者リストをもとに声をかけてもらいたい。次回幹事会までに宮元幹事へ参加者を報告してもらいたい。」との提案があり、宮元幹事が参加者をとりまとめることと合わせて承認された。

⑦常任若手幹事合同研修会実施について

宮元相談役より、「11月28日(土)～29日(日)開催のスイート和倉での幹事研修会は、501(4人)、502(4人)、603(2人)、604(4人)の4部屋、合計14人分を予約してある。一年間尽力してくれた幹事には声を掛けたい。次回幹事会に参加者を報告したい。」との報告があった。

⑧冬の異業種交流会の講師選出について

高木会長より、「次回平成28年1月24日(日)実施予定の異業種交流会の講師を確認しておきたい。予定では、経営情報学科の松林賢司先生となっていたが、それでよいか。」との提案があり、次回の日程および講師が松林先生に決定した。また、池野より、「1月1日発行の経工会だよりと会報こぶしへ夏の異業種交流会の実施報告と、冬の異業種交流会の告知をしたい。10月20日頃までに演題を決定してもらいたい。」との意見があり、高木会長より石原先生へコンタクトをとり確認することとなった。

なお、会場は前回同様に ANA ホリデイイン金沢スカイとして、会場手配は宮元幹事に一任することになった。

⑨ その他

池野から「先日、土屋先生から経工会会員の紹介を受けたので紹介しておきたい。今回の幹事会には残念ながら都合が悪く欠席したが、11月1日こぶし祭応援スタッフとして参加してもらおうにあたり、事前に10月18日(日)高専祭の場で常任幹事の皆さんへ紹介したい。」との報告があった。

長谷川 渡

平成18年度学部卒業、平成20年度大学院卒業(土屋研)、
現在金沢市内のIT企業にてシステム開発および営業を担当

以上をもって20:00に会は終了し、次回の幹事会を11月6日(金)の18:30からこぶし会会議室にて開催することを確認し、散会した。